

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 26 年 8 月 20 日

理事長 松山 良一

6,000 名規模の大型国際会議・展示会「シーグラフ・アジア」日本開催決定！

都市の特徴を生かした誘致活動が奏功

(概要)

今般、開催規模 6,000 名の大型国際会議・展示会の日本誘致が成功しました。開催は 2015 年、神戸市で、日本開催は 6 年振り 2 度目となります。参加予定人数 6,000 名のうち、海外参加者は 1,000 名が見込まれています。

- JNTO においては、国際会議海外キーパーソン招請事業「MEET JAPAN 2013」にて同会議の国際本部キーパーソンを招請し、神戸国際観光コンベンション協会と連携して国内主催者の誘致活動を支援してまいりました。
- 開催地である神戸市は、昨年観光庁よりグローバル MICE 戦略都市に選ばれ、国際会議誘致活動に力を入れており、本会議の誘致にあっても、デザイン都市・創造都市であるオリジナリティを生かした誘致活動を行いました。
- 本会議の開催によって、医療、デザイン、防災等のコンピューターグラフィックス・インタラクティブ技術分野における、神戸の産業・人材育成に大きな影響を与えるだけでなく、同分野の日本の技術力の高さ・先進性が世界にアピールされることが期待されます。

国際会議の開催は高い経済効果だけではなく、当該分野における日本のプレゼンスの向上、都市のブランド力向上を生み出します。JNTO では、引き続き、国際会議誘致、会議開催を通じた訪日外国人数増加に向け、取り組んでまいります。

会議名	和文) : シーグラフ・アジア 2015 英文) : SIGGRAPH Conference and Exhibition on Computer Graphics and Interactive Techniques in ASIA 2015		
主催団体	ACM SIGGRAPH		
概要と主な活動	ACM は IT の技術・科学・工学及び応用の発展・教育に貢献する国際的な学会で、SIGGRAPH はコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術に関する諸活動を行っている。SIGGRAPH Asia は、同分野で世界最高峰の学術集会・展示会である国際会議「SIGGRAPH」のアジア版。		
開催都市(会場)	神戸市(神戸国際会議場、神戸国際展示場)	予定開催期間	2015(平成 27)年 11 月
参加予定人数	6,000 名(海外:1,000 名 国内:5,000 名)	予定参加国数	約 30 カ国
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の決定は、医療機器関係、災害関係、横浜時同様にロボティクス等の出展品目はじめ、様々な新しい関連技術がショーケースされ、この分野における日本の技術力の高さが改めてアピールされることに対する期待の大きさに拠るもの。 ・JNTO とともに誘致活動を進めた北村喜文教授(東北大学)が Conference Chair を務める予定。 ・JNTO は、2013 年 3 月、国際会議海外キーパーソン招請事業で国際本部キーパーソンを招請。国際航空券・国内移動費等を支援し、視察を通じて日本の開催地としての魅力を PR。観光庁と連携のもと、国土交通大臣・文部科学大臣・観光庁長官・JNTO 理事長名の招請状も発出。 		

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部(松井) TEL:03-3216-2905

